

くらし安全・住みよしみづくり、まちづくり



かけはし

編集・発行／沼津駅の高架化を実現する市民の会 〒410-0832 沼津市御幸町14-5 (沼津商工会議所内) TEL (055) 931-1111(代)・FAX (055) 931-1115

主な記事

- 東部コンベンションセンター(1)
静岡県と沼津市が、企業グループと基本協定を締結
- 沼津の未来に希望もてる
“あかるいまち”づくりが進んでいます(2)
・沼津駅北口駅前広場西側で工が進んでいます
・三ツ目ガード北側で工が進められています
・杉崎町に新しい街並みができます
・高田踏切に2mの歩道が整備されました
・自転車通行帯(青)ができました
・駅の西側でも新しいまちづくりが進んでいます

会議場施設・展示イベント施設・ホテル・駐車場を一体的に整備！

東部コンベンションセンター

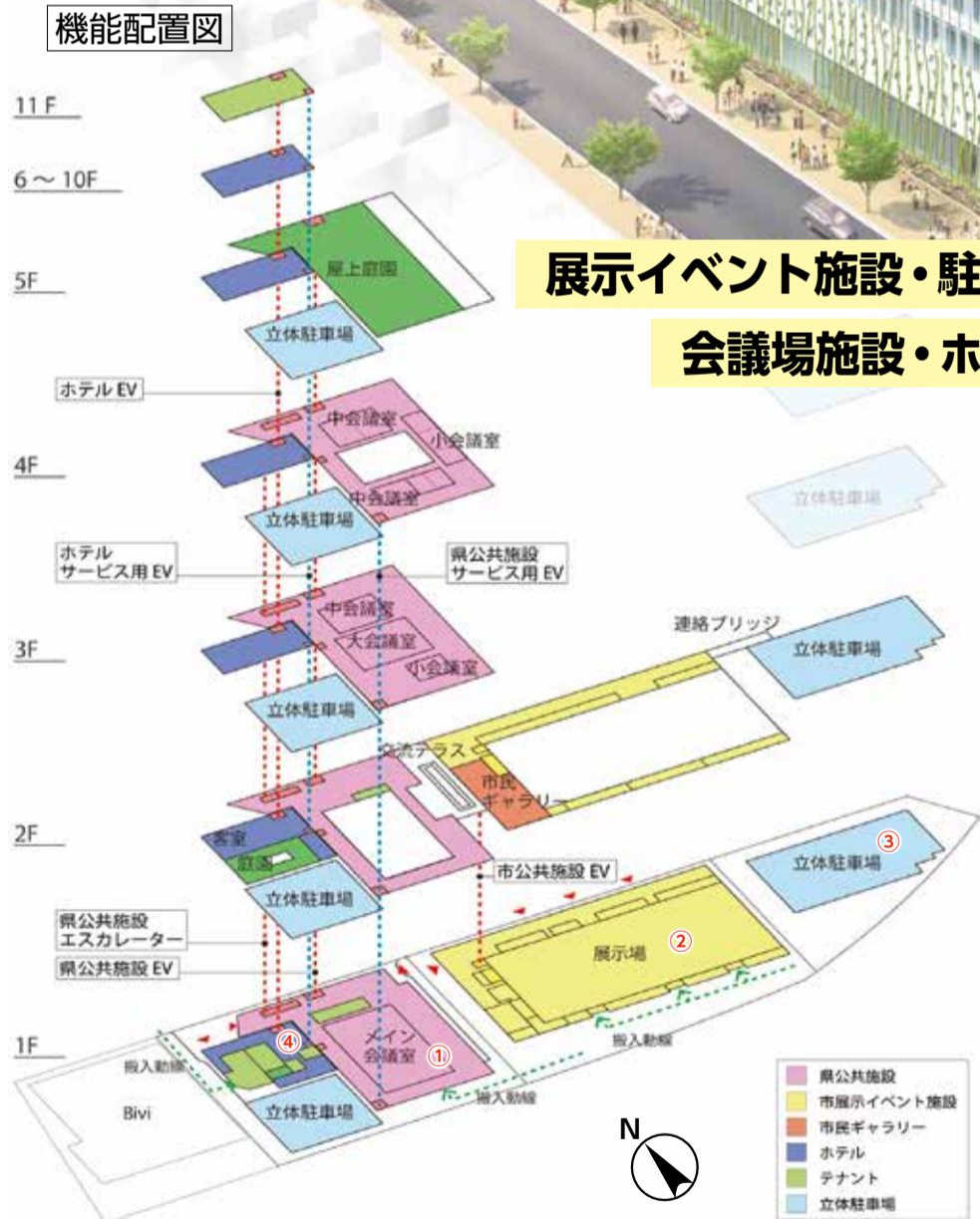
静岡県と沼津市が、企業グループと基本協定を締結



進む 進む 進む!

展示イベント施設・駐車場：平成25年夏オープン！

会議場施設・ホテル：平成26年夏オープン！



鉄道高架化を見据え、沼津駅周辺のまちづくりができることから着々と

施設の種類	延床面積	機能等
静岡県 ① 会議場施設	15,361㎡	メイン会議室(最大収容人数 約1,300人) 大会議室(最大収容人数 約400人) 中小会議室計12室(最大分割時17室) インフォメーションコーナー 県特産飲食物販売コーナー 駐車場、屋上庭園等
沼津市 ② 展示イベント施設	8,841㎡	展示面積 約3,900㎡ 市民ギャラリー約620㎡等
沼津市 ③ 駐車場	9,908㎡	480台
民間 ④ ホテル	7,491㎡	11階建 客室総数150室 レストラン、バー等

この東部コンベンションセンターに関する基本協定の締結に当たり、栗原市長は、「県東部全体で利用していただける建物になった。前向きに進めていきたい」との考えを示しました。

また、「沼津駅周辺は土地区画整理事業などにより、大きく変わっていく。鉄道高架を前提にしたまちづくりが進んでいる」と語り、沼津駅周辺総合整備事業の中核をなす鉄道高架事業について引き続き推進していく姿勢を強調しました。

沼津の未来に希望のもてる “あかるいまち”づくりが進んでいます

沼津駅周辺では、将来の鉄道高架化を見据え、道路整備や建物の移転などが行われています。

県東部の拠点都市にふさわしい新しいまちが徐々にその姿を現し、私たち市民にとって「沼津の未来に希望のもてる“あかるいまち”づくり」が着実に進んでいます。

① 沼津駅北口駅前広場西側で工事が進んでいます



鉄道高架化を見据え、新しい道路や建物の整備が進められています。

④ 高田踏切に2mの歩道が整備されました



歩行者や自転車の安全確保のため、東海道本線日吉踏切の歩道整備に続き、御殿場線高田踏切にも幅2mの歩道が新しく整備されました。鉄道が高架されると、踏切は除去され、4.5mの歩道が両側に整備されます。

② ミツ目ガード北側で工事が進められています

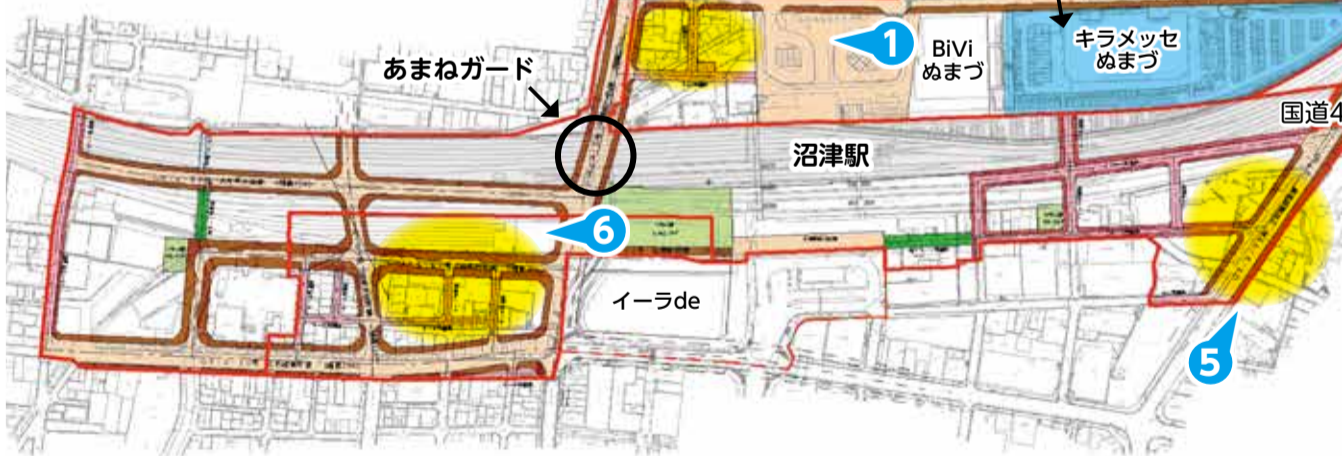


三ツ目ガード北側の国道414号は、鉄道高架後の道路の高さに合わせる工事が進められています。この工と合わせ、周辺の宅地のかさ上げや建物整備が進み、新しい街並みが姿を見せ始めています。

③ 杉崎町に新しい街並みができます



東西に広がる“まち”づくり



⑤ 自転車通行帯(青)ができました



⑥ 駅の西側でも新しいまちづくりが進んでいます



かつて線路や建物があった場所に新しく道路が整備され、建物の移転が行われています。駅の西側でも新しいまちづくりが進められています。

わたしたちの「まち」が県東部の顔に



通学路など自転車の利用の多い歩道に青色でカラー舗装された自転車通行帯が設置されました。鉄道高架後は、鉄道を南北に横断する通路が増え、歩行者や自転車利用者の利便性がさらに向上します。